



アマゴを刺す時に、生きているまま刺したから、すごくかわいそうでした。「ごめんね」と思いました。サーチザツリーは、木の種類がたくさんあることが分かりました。間伐材でスプーン作りでは、友だちと仲良く活動できてよかったです。とても楽しかったです。

葛川にまた行ってみたいです。やまのこ学習で杉の木に詳しくなれたと思います。また間伐材を使って何かを作りたいと思います。また、サーチザツリーに再挑戦してみたいです。泊まることができなかったけど、校外学習でいけたのでうれしかったです。

葛川に来て、アマゴの命をもらっておいしく食べられました。木の種類もちょっと分かりました。スプーン作りも楽しかったし、全部の活動がとっても楽しかったです。

児童の感想 (抜粋)

アマゴを刺すのはいやだったけど、やってみることができて、少し自信ができました。命の大切さも分かり、とてもいい機会になりました。友だちと協力もできて、森林のことも良く分かり、楽しかったです。また葛川に行きたいです。

いつもは普通に肉や魚を食べていました。でも自分で生きている生き物を刺すのはすごく悲しかったです。これからも「いただきます」「ごちそうさまでした」と感謝の気持ちをちゃんと込めようと思いました。サーチザツリーでは、いろいろな木の色・形・名前・特徴が分かり、全問正解できました。またいろいろな木を調べようと思いました。スプーン作りでは、みんなと協力してできました。最初はなかなか火が点きませんでした。けれど、友だちが点けてくれて、そこからみんなでうちわを交代であおいで、できました。目が痛くなりながらもきれいにスプーンが作れてよかったです。みんなとの仲も深まったと思います。

アマゴを刺すのはいやだけど、おいしかったです。絵本でもすごくおいしいと書いてありました。僕は、アマゴはすっごく苦手だったけど、おいしかったです。何でおいしいのかな。家の夜ご飯で魚が出たけどまじらなかったです。不思議でした。

やまのこ学習では、命の大切さや森林の役割、間伐材でのスプーン作り方を学びました。楽しかったことはサーチザツリーで、いろいろな木の特徴や、問題のヒントが8つあって、その木を探し出すのが楽しかったです。ボリュームも満点だし、思っていたよりも、たくさん木が生えていました。それに「これがヒノキなんだ」って知ることができたし「こんな形の葉っぱ、こんな木の実、こんな名前もあるんだなあ」と思いました。他に楽しかったことは、間伐材でのスプーン作りです。「材料があれば、一からスプーンを作れるんだなあ」と感心しました。これは貴重な体験だし、火を起こすためのレンガは家には無いので、このスプーンは本当に大切にしまっておこうと思います。他にもアマゴつかみの体験をして、たった一つの命の大切さを感じました。でも、アマゴを突き刺すときは、背骨を竹串が通っている感じがして、かわいそうで、二度とやりたくないと思いました。

